

アイヌ民族文化研究センターだより NO.30

2009年3月

●もくじ●

- 山田秀三文庫と久保寺逸彦文庫の資料から … 1
- 企画展「語り、継ぐ—アイヌ口承文芸の世界」 …… 2
- 研究課題紹介
- 「鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽について
の調査研究」 …………… 3
- 平成21年度から公開する資料について …… 4
- 寄贈を受けた資料 …………… 6
- お知らせ（研究センター移転のお知らせ、ほか） …… 8

[企画展(共催)]

語り、継ぐ—アイヌ口承文芸の世界

5月30日から

札幌市（北海道立文学館）で

開催します！

詳しくは2ページをご覧ください。

山田秀三文庫と久保寺逸彦文庫の資料から

『アイヌ語会話字典』 写本 （資料番号：YA3512、KA2467）



写真①

写真①は、山田秀三文庫の図書資料中にある、神保小虎・金澤庄三郎『アイヌ語会話字典』（1898=明治31年）の写本。全文を大学ノートに筆写し、製本したものである。金田一京助の所蔵本を山田が借り受け、山田の妻・総子が金田一による書込みともども筆写した。

これを見た知里真志保、久保寺逸彦も同じ写本をこしらえたという逸話が、山田秀三『アイヌ語地名を歩く』（北海道新聞社、1986年）に記されている。写真②は①の本文の一部、「イ」から始まる日本語に対応したアイヌ語が書かれているページである。

写真③は、久保寺逸彦文庫の図書資料中にある、同じ写本をコピー製本したもの。②と同じページを開いて撮影した。②と比べると、さらに久保寺による書込みが加わっている様子がうかがえる。

三冊の写本

私が研究を始めたころは、アイヌ語関係の資料はまるで少なく、またあっても入手が困難だった。そんな時代の物語である。金田一先生の研究に若干のお手伝いをしたときに、たいへん喜ばれて〔中略〕一冊の本を持ち出され、私がアイヌ語を勉強するため初めて沙流に行ったときに、これだけを持って行ったのでした、上げましようと言われる。

見ると明治31年（1891）に、金沢庄三郎博士が書かれたアイヌ語会話字典で、処々に先生が鉛筆で書き込みをしておられる。もらっては済まない本だ。しばらく拝借させて下さいと持ち帰った。

複写機なんか無い時代だ。手書きで写すほかない。〔中略〕家内が、写すくらいの手伝いはしますよと言ってくれ、大学ノート二冊半ぐらいに書き上げた。もちろん先生の書き込みもそのまま写してある。

製本屋に頼んで立派な本になったので、原本をお返しに行った〔中略〕先生は開いて、びっくりしたようなお顔で読んでおられる。それは先生の書き込みですよと言ったら、ああそうでしたか、と笑われた。

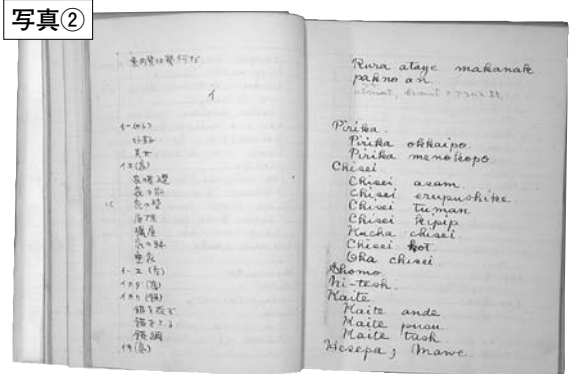
知里さんに見せたら羨ましがり、貸してくれという。〔中略〕見違えそうな写本を作ってみせられた。

久保寺逸彦博士が、私だって持っていたいですよ、と持って行って、これまた全く同じ装幀の写本を作った。

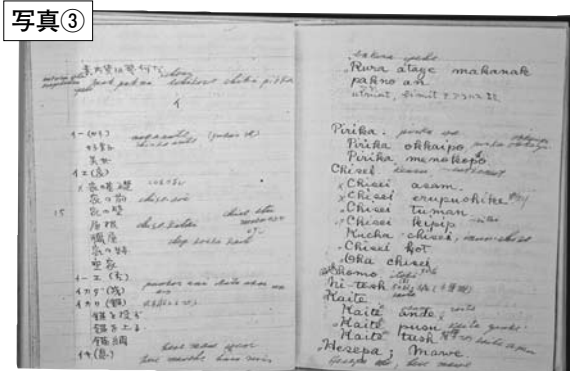
こうして、金田一直門の三人が、体裁から何から区別のつかない写本を持っていたのだった。

（山田秀三『アイヌ語地名を歩く』
北海道新聞社、1986年、148～149ページ）

写真②



写真③



〔企画展〕

語り、継ぐ ―アイヌ口承文芸の世界

当センターでは、平成16年度から毎年度、企画展を道内各地で開催してきましたが、今年度は、下記のとおり、アイヌ口承文芸をテーマとした企画展を、北海道立文学館・財団法人北海道文学館との共催、北海道大学アイヌ・先住民研究センターの特別協力により、北海道立文学館にて開催します。



山田秀三文庫写真資料YP1305-003-05より
金成マツ氏が火箸で拍子を取りながら口承文芸を口演し、それを知里真志保氏が採録している。

展示では、現在のアイヌ口承文芸の伝承・学習・研究の基礎となる資料を遺した、金田一京助氏、久保寺逸彦氏、知里真志保氏ら研究の先達による膨大な調査ノート、録音テープなどの資料を中心に、口承文芸を語り継いできた人々に焦点を当てながら、その豊かな世界を紹介します。当センターが所蔵する「久保寺逸彦文庫」等の録音テープや映像フィルム、ノートなども展示いたします。

期間中には、講演会やフォーラム、ミニ講座なども行います。

皆様のご来場をお待ちしています。

【会場】 北海道立文学館（札幌市中央区中島公園内）
札幌市営地下鉄中島公園駅・幌平橋駅から徒歩約7分

【期間】 5月30日（土）～7月20日（月）
休館日：毎週月曜日（7月20日は開館します）

【時間】 9：00～17：00（入場は16：30まで）

【料金】 一般400円（10名以上の団体の場合320円）
高校・大学生250円（同 200円）
小・中学生及び65才以上は無料です。



■講演会・フォーラム■

- 5月30日（土） 14：00～16：30 北海道立文学館講堂
〔講演と対談〕アイヌ口承文芸の中の“恋愛”
中川 裕 氏（千葉大学教授）× 本田 優子 氏（札幌大学教授）
- 6月14日（日）〔時間未定〕 北海道大学文系講義棟W203教室
〔研究フォーラム〕〔タイトル未定〕
〔講師未定〕
- 7月12日（日） 14：00～〔時間未定〕 北海道立文学館講堂
〔文芸対談〕〔タイトル未定〕
横山むつみ 氏（知里森舎）× 池澤 夏樹 氏（作家）

■ミニ講座■ ※講師はいずれも研究センター職員

- 6月6日（土） 14：00～15：30 北海道立文学館講堂
（久保寺逸彦文庫の写真資料と映像フィルムの紹介）
- 6月13日（土） 14：00～15：30 北海道立文学館講堂
（展示会場で聞くことのできる口承文芸の解説）



久保寺逸彦氏が採録したアイヌ口承文芸の録音レコード（北海道立図書館所蔵）

研究課題紹介

鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究

当研究センターの調査研究報告書シリーズの5冊目となる『鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究』が、平成21年3月に刊行されました。これは、平成17～19年度に実施した調査研究の成果についてまとめたもので、本体のほか、当研究センターの採録資料から歌の部分を抽出して収録した音声CDも付録しています。

ここでは、その概要をご紹介します。

* * * * *

この調査研究は、アイヌの伝統的な音楽について、現在、道内各地でどのような曲が伝承されているのかを把握すると同時に、その地域の音楽の伝承について、これまでに集積された資料や新たな情報を一覧できるように整理した基礎的な資料を作成するために行いました。というのは、ある地域のある曲について調べたいとき、歌1曲ごとに、これまでに記録された資料の情報などが整理されていれば便利ではないか、と考えたからです。

地域については、国の重要無形民俗文化財の指定を受けている“アイヌ古式舞踊”の保持団体を有する17の地域¹から、今のところ優先的に選んでいます。これは、指定の前後に行われた調査記録が残っているため、その分、参照できる資料が多いことが見込めるからです。

当研究センターではこれまでも同じ目的のもと、旭川地方について調査研究を行い、報告書を刊行しています(平成17年度)。今回、鶴川地方²を対象としたのは、平成7年度から、当研究センターが既に聴き取り調査を行い、採録資料の公開も進めており、情報をいっそう充実させることができると考えたことによります。

アイヌ音楽についてこれまで行われた調査や記録事業に基づく、音声資料の刊行物の中でも、日本放送協会『アイヌ伝統音楽』(1965)(以下『伝統音楽』)や、このときの事業で録音された音源から編集されたLPレコード盤『アイヌの音楽』(1967)は、現在もアイヌ音楽研究の上で必ずといっていいほど参照される重要な資料で

す。ほかにも、北海道教育委員会による各種調査事業、その他の団体または研究者らによる調査・記録の事業などもあり、報告書や音声・映像資料などの形で刊行されたものもあります。

これら既存の資料で、公開または刊行されていて誰でも参照できるものを条件に、今回の対象とした鶴川地方での採録を含む資料を調べました。

具体的には、『伝統音楽』から鶴川地方で採録された曲を抜き出し、調査項目にあげていきました。ただし『伝統音楽』では、鶴川地方の伝承に関連がありそうなものの、採録地がはっきりと特定できない場合もありました。ひょっとしたら鶴川地方には該当しない可能性はありますが、念のため項目に残しておきました。

その他の既存の資料からも同様に、鶴川地方での採録情報を抜き出し、『伝統音楽』から抜き出した項目と突き合わせ、情報を加えたり項目を統合していきます。

これと並行して、既に当研究センターが採録してきた資料の整理を進め、歌について語ったり、実際に演唱していただいている箇所を抜き出しました。そして、前述の作業による項目にその情報を加えたり、または新たに項目を設けたりしていきます。さらに、新たに聴き取り調査を行って、情報の補完に努めました。

こうして、今回刊行する報告書では、最終的に93の項目(各曲について82項目、その他11項目)にまとめることができました。

鶴川地方とひと口にいても広範な地域の中で、ジャンルも多岐に渡るさまざまな歌が、保存会のような伝承活動団体や個人によって、今日まで伝えられてきていることを確認できたことは、大きな収穫だったと考えています。また、鶴川地方の歌の情報を一覧できる資料や、実際の歌唱を収めたCDを付けて刊行することで、少しでも、研究や伝承活動の役に立つことを願っています。

* * * * *

付録のCDに使用した、当研究センターによる採録資料「鶴川に伝わるアイヌ文化」は、全て公開しており、閲覧コーナーで視聴することができます。

(研究職員 甲地 利恵)

1 旭川、白老、平取、静内、浦河、帯広、釧路、阿寒、札幌、千歳、鶴川、門別、新冠、三石、様似、弟子屈、白糠

2 この調査研究でいう“鶴川地方”とは、現在のむかわ町(旧鶴川町と旧穂別町)とほぼ同じ範囲の、鶴川水系を中心とする地域を指すことにしています。

平成21年度から公開する資料について

平成21年度から新たに公開する資料についてお知らせします。資料の一覧は下の表のとおりです。

■山田秀三文庫 音声資料

平成20年度までに、アイヌ語地名及びアイヌ語・アイヌ文化関係の資料は概ね公開しましたので、平成21年度からは、山田氏が関心を持ち支援していた、追分節や鯨漁歌関係の資料の公開を開始します。

江差追分の師範・近江八声氏、民謡歌手として著名な今井篁山氏、小樽市忍路の「忍路鯨場の会」などによる演唱を録音した資料6点（公開用資料6点）を新たに公開します。

なお、山田秀三文庫の資料ではありませんが、山田氏が各地で講演したときの録音が残っているものについて、順次その複製を収集し、公開を開始します。平成21年度は、浦河町での講演の記録を公開します。

■久保寺逸彦文庫 音声資料

これまでに引き続き、アイヌ口承文芸やアイヌ民俗調査の資料の公開を進めています。平成21年度からは、阿寒、浦河ほかで採録された民俗調査の資料9点（公開用資料14点）を新たに公開します。

■研究センター音声・映像資料

当研究センターの職員が各地の伝承者・体験者等から採録した資料や、寄贈や複写による資料を公開しています。平成21年度は、平取、鶴川、三石、室蘭などで採録した資料のほか、寄贈いただいた複写資料1点を含む、計27点（公開用資料23点）を新たに公開します。

■山田秀三文庫 文書資料

渡島・檜山地方をはじめとする、道内各地での地名調査の記録及び津軽海峡・津軽半島のアイヌ語地名に関する論文や原稿など計10点を新たに公開します。

利用について

これらは研究センターの閲覧コーナーで視聴や閲覧ができます。音声資料はコンピューターで、映像資料は複製DVDで視聴できます。写真資料・文書資料はプリンターからの紙焼きを閲覧いただいています。

なお、資料の複写は行っていません。

〔資料の一覧〕

※音声・映像資料を視聴するときは、「公開用資料番号」で請求してください。

※「採録地」は採録当時の市町村名で記してあります。

■山田秀三文庫 音声資料

公開用資料番号	表 題		語り手(敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	原資料番号
	資 料 の あ ら ま し					
YC800038	「追分節」関係資料 1 : 近江八声氏が歌う江差追分 山田秀三氏が江差町の鉄口旅館に江差追分の師範である近江八声氏らを招いて録音したもの。三味線伴奏による昔の演奏スタイルが録音されている。		近江八声、近江タキ、ほか	1961(昭和36)年5月24日	江差町	YC000151
YC800039	「追分節」関係資料 2 : 今井篁山氏が歌う新追分 民謡歌手として著名な今井篁山氏による「江差追分」ほかの演唱を録音したもの。山田氏が作詞した「新追分」も演唱されている。		今井篁山、松本晁章、ほか	1961(昭和36)年12月18日	札幌市	YC000152
YC800040	「追分節」関係資料 3 : 今井篁山氏が歌う「追分新内」「北海盆歌」 民謡歌手として著名な今井篁山氏による「追分新内」「北海盆歌」の演唱を録音したもの。		今井篁山、おりえ、ほか	1917(昭和46)年2月29日	札幌市	YC000055
YC800041	忍路の鯨漁歌 1 鯨漁場の網元の家に生まれた須摩正敏氏ら小樽市忍路の人々が、山田秀三氏に招かれ札幌で鯨漁歌を披露したときの録音。		須摩正敏、ほか(忍路の人たち)	1973(昭和48)年6月20日	札幌市	YC000057
YC800042	忍路の鯨漁歌 2 小樽市忍路の「忍路鯨場の会」が、札幌に招かれて鯨漁歌を披露したときの録音。後半には、民謡歌手・今井篁山氏による「北海盆歌」の演唱も録音されている。		忍路鯨場の会、今井篁山、松本晁章	1974(昭和49)年7月18日	札幌市	YC000067
YC800043	忍路の鯨漁歌 3 小樽市忍路の「忍路鯨場の会」による、第2回「網おろし」のようすを録音したもの。		忍路鯨場の会、山田秀三、ほか	1976(昭和51)年2月1日	小樽市忍路	YC000070

■山田秀三氏関連の音声資料

公開用資料番号	表 題		語り手(敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	原資料番号
	資 料 の あ ら ま し					
CC800189	浦河町における山田秀三の講演(その1)		山田秀三	1979(昭和54)年7月21日	浦河町	CC001557
CC800190	浦河町における山田秀三の講演(その2) 浦河地方の地名調査のため同町を訪れた山田秀三氏が、地元の関係者らの希望に応じて講演を行ったときの記録。		山田秀三	1979(昭和54)年7月21日	浦河町	CC001557

■久保寺逸彦文庫 音声資料

公開用資料番号	表 題		語り手(敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	原資料番号
	資 料 の あ ら ま し					
KC800067	民俗調査 阿寒 1 (その1)		舌川原キサ	1968(昭和43)年7月23日	阿寒町	KC000110-02
KC800068	民俗調査 阿寒 1 (その2)		舌川原キサ	1968(昭和43)年7月23日	阿寒町	KC000110-02
KC800069	民俗調査 阿寒 2 阿寒町徹別出身の舌川原キサ氏から、産育などの習俗や阿寒湖のまりも祭りなどについて聞き取りした記録。舌川原氏によるムックリの演奏も録音されている。		舌川原キサ	1968(昭和43)年7月23日	阿寒町	KC000111-01

公開用 資料番号	表 題	語り手(敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	原資料 番号
	資 料 の あ ら ま し				
KC800070	民俗調査 浦河 3 (その1)	浦川タレ	1970 (昭和45) 年7月10日	浦河町	KC000044
KC800071	民俗調査 浦河 3 (その2)	浦川タレ	1970 (昭和45) 年7月10日	浦河町	KC000044
KC800072	民俗調査 浦河 4 (その1)	浦川タレ	1970 (昭和45) 年7月11日	浦河町	KC000046
KC800073	民俗調査 浦河 4 (その2)	浦川タレ	1970 (昭和45) 年7月11日	浦河町	KC000046
KC800074	民俗調査 浦河 5	浦川タレ	1970 (昭和45) 年7月11日	浦河町	KC000045-01
	浦河町野深出身の浦川タレ氏から、葬送儀礼、男女の習俗、先祖供養、近隣の地名、季節ごとの生業などについて聞き取りした記録。				
KC800075	サハリンの思い出と歌など	藤山ハルほか	1969 (昭和44) 年7月27日	常呂町	KC000026
	サハリン西海岸北部の恵須取出身の藤山ハル氏らから、月経や結婚に関する習俗、終戦時の思い出、踊りや歌、ムフクン(口琴)の演奏などを録音したものを。				
KC800076	口頭文芸 サハリン	藤山ハルほか	1971 (昭和46) 年3月29日、30日	東京都	KC000062
	サハリン西海岸北部の恵須取出身の藤山ハル氏から、歌や踊り、口承文芸などについて聞き取りを行ったもの				
KC800077	民俗調査 サハリン 5 (その1)	西平喜太郎、西平ウメ	1969 (昭和44) 年7月28日	興部町	KC000016
KC800078	民俗調査 サハリン 5 (その2)	西平喜太郎、西平ウメ	1969 (昭和44) 年7月28日	興部町	KC000016
KC800079	民俗調査 サハリン 6 (その1)	西平喜太郎、西平ウメ	1969 (昭和44) 年7月28日	興部町	KC000016
KC800080	民俗調査 サハリン 6 (その2)	西平喜太郎、西平ウメ	1969 (昭和44) 年7月28日	興部町	KC000016
	サハリン東海岸小田寒出身の西平ウメ氏、西海岸真岡出身の西平喜太郎氏夫妻から、葬送儀礼や戦前・戦後の生活体験などについて聞き取りした記録。				

■研究センター音声・映像資料

公開用 資料番号	表 題	語り手(敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	原資料 番号
	資 料 の あ ら ま し				
CC800166	平取町の伝承 21-3	上田トシ	1997 (平成9) 年6月27日	平取町旭	CC000382
CC800167	平取町の伝承 21-4	上田トシ	1997 (平成9) 年6月27日	平取町旭	CC000383
CC800168	平取町の伝承 21-5	上田トシ	1997 (平成9) 年6月27日	平取町旭	CC000389
	上田トシ氏による口承文芸とその解説などを録音したもの。				
CC800169	信仰に関すること : 松島トミさん 1	松島トミ	2005 (平成17) 年7月14日	門別町豊田	CC001369
CC800170	信仰に関すること : 松島トミさん 2	松島トミ	2005 (平成17) 年7月14日	門別町豊田	CC001374-02
	カムイとアイヌとの関わりに関する採録調査の一環として、「オハイヌ」「オハインカラ」と呼ばれる出来事などについて聞き取りした記録。				
CC800171	上野サダさんの伝承 3	上野サダ	2005 (平成17) 年10月8日	帯広市	CC001373
	カムイとアイヌとの関わりに関する採録調査の一環として、「オハイヌ」「オハインカラ」と呼ばれる出来事などについて聞き取りした記録。				
CC800172	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 丹野フユさん 1-1 (その1)	丹野フユ	1995 (平成7) 年6月16日	札幌市	CC000424
CC800173	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 丹野フユさん 1-1 (その2)、1-2	丹野フユ	1995 (平成7) 年6月16日	札幌市	CC000425
CC800174	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 丹野フユさん 2、3	丹野フユ	1995 (平成7) 年9月13日、14日	札幌市	CC000430-01
	幼い頃に聞きたカムイノミ、酒づくり、歌や踊り、古老から聞いた物語のあらすじ、鶴川流域の地名などを聞き取りしたもの。				
CC800175	三石地方の伝承 7		1996 (平成8) 年3月2日	三石町	CC000440
CC800176	三石地方の伝承 8		1996 (平成8) 年3月7日	三石町	CC000443-02
CC800177	三石地方の伝承 9-1、9-2		1997 (平成9) 年3月26日	三石町	CC000458 CC000459
	幼い頃の思い出、星の名称、昔の人々が口承文芸などを楽しんでいたようす、ヌダレやゴザ編みなどについて聞き取りを行ったもの。				
CC800178	室蘭地方に伝わるアイヌ文化 3-1、3-2	磯辺マサ子	1995 (平成7) 年7月6日	室蘭市幌町	CC000426 CC000427
CC800179	室蘭地方に伝わるアイヌ文化 2 【映像資料】	磯辺マサ子	1995 (平成7) 年4月24日	室蘭市幌町	CC000481
	昔の思い出、山菜や木の実や柴などの採取の方法や利用のしかた、それらにまつわる物語のあらすじや言い伝え、葬式のときの作法などについて聞き取りしたもの。映像資料は、子どもの遊ばせ歌のやり方、輪踊りの手振りなどについて、実際に演じてもらったようすを録音したもの。				
CC800180	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 小石川セツ子さん 8	小石川セツ子	2008 (平成20) 年3月3日	むかわ町末広町	CC001541
CC800181	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 小石川セツ子さん 8 【映像資料】	小石川セツ子	2008 (平成20) 年3月3日	むかわ町末広町	CC001548
	昔の葬儀のときの服装や、昔の家のカムイノミ、自分の若い頃の思い出やこれまでの音楽体験などについて聞き取りと録音を行ったもの。				
CC800182	旭川に伝わるアイヌ文化 6-1、6-2 【映像資料】	杉村フサ	1999 (平成11) 年5月25日	旭川市鏡町	CC000867 CC000868
CC800183	旭川に伝わるアイヌ文化 7 【映像資料】	杉村フサ	1999 (平成11) 年5月26日	旭川市鏡町	CC000869
	旭川地方におけるウホボについて、踊りの実演を交えてもらいながら聞き取りしたようすを録音したもの。				
CC800184	木村ウシモンカさんのウホボとヤイサマ	木村ウシモンカ	1971 (昭和46) 年3月28日	平取町	CC001549
	平取出身の木村ウシモンカ氏らによるいろいろな歌を、ウシモンカ氏の家族が録音したもの。				
CC800185	アイヌ語日常会話に関する調査 : 上田トシ氏と黒川セツ子 1	上田トシ、黒川セツ	1996 (平成8) 年3月27日	平取町貴気別	CC000525
	平取町旭の上田トシ氏と貴気別の黒川セツ子氏に、アイヌ語の日常会話について聞き取りを行ったもの。良くない死に方をした人の葬儀についてなども話題になっている。				
CC800186	黒川セツの伝承 10-2 (その1)	黒川セツ、上田トシ	1996 (平成8) 年6月12日	平取町貴気別	CC000533
CC800187	黒川セツの伝承 10-2 (その2)	黒川セツ、上田トシ	1996 (平成8) 年6月12日	平取町貴気別	CC000533
CC800188	黒川セツの伝承 10-3	黒川セツ、上田トシ	1996 (平成8) 年6月12日	平取町貴気別	CC000534
	平取町貴気別の黒川氏からアイヌ語の植物名などについて聞き取りしたもの。上田トシ氏も同席しており、両氏からアイヌ語の日常会話についても聞き取りしている。				

■山田秀三文庫 文書資料

資料番号	表 題	資 料 の あ ら ま し
YF0025	岩見沢	1972 (昭和47) 年2月、岩見沢、幾春別、幌内等を調査した記録。
YF0030	北海道 宗谷 38	1963 (昭和38) 年5月、稚内駅からノシャップ岬及び宗谷岬を往復し調査した記録。
YF0039	瀬棚久遠記 I	1974 (昭和49) 年7月、長万部から国縫、今金、北松山、瀬棚、太槽、久遠、太田などを調査した記録。
YF0040	瀬棚久遠記 II	
YF0042	江差 松前 昭和36	1961 (昭和36) 年5月、函館、木古内、江差、松前、福島などを調査した記録。江差追分の録音に関する記録(音声資料の公開資料番号YC800038と関連)も含まれている。
YF0045	苫前郡 初山別 三毛別 61年	1987 (昭和62) 年7月、羽幌から初山別、築別川筋、羽幌川筋、古丹別川筋などを調査した記録。
YF0097	函館II 恵山、大沼	1972 (昭和47) 年及び1973年に恵山及び大沼付近を調査した記録。
YF0185	津軽半島の記録-アイヌ語地名の研究-	青森県の郷土研究誌「うとう」第56号(1962年)に掲載された同名の論文を切り抜いて大学ノートに貼付し、そこに写真、地図、メモなどを大幅に補ったもの。
YD0432	津軽海峡とアイヌ地名	「津軽海峡とアイヌ地名/本州と北海道の地名接続地帯の調査」と題した未公開の原稿。
YF0491	北海道 磯谷、積丹、虻田	1968 (昭和43) 年6月、伊達、虻田、静狩、寿都、弁慶岬、歌棄、積丹半島などを調査した記録。寿都付近の地名調査は既に公開している音声資料YC800014と関連する。

寄贈を受けた資料 (2008年9月～2009年2月)

発行者名の50音順に資料名を掲載しています。資料を寄贈していただいた方々・機関にお礼を申し上げます。

愛知県公文書館

- ・近世愛知の城下町と村
- ・愛知県公文書館だより 第13号

愛知県立大学多文化共生研究所

- ・共生の文化研究 1

アイヌ語地名研究会

- ・アイヌ語地名研究会会報 第33、34号

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

- ・平成20年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3
- ・平成19年度 財団の活動
- ・平成20年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.4
- ・財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成事業案内 平成21年度版 伝統工芸展示公開・複製助成事業編
- ・財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成事業案内 平成21年度版 国内・国際文化交流助成事業編
- ・財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構助成事業案内 平成21年度版 研究・出版助成事業編

青森県環境生活部県民生活文化課県史編纂グループ

- ・青森県史叢書 南部の仏像 上北・三八 地方寺社所蔵文化財調査報告書

旭川市博物館

- ・旭川市博物館科学館報 Vol.1

旭川竜谷高等学校郷土部

- ・上川アイヌの研究

アジア・太平洋人権情報センター

- ・国際人権ひろば No.81
- ・国際人権ひろば No.82、No.83

厚真町教育委員会

- ・厚真町 ニタツナイ遺跡(1)

石井清治

- ・草の根の医療

いしかり砂丘の風資料館

- ・エスチュアリ いしかり砂丘の風資料館だより No.33、No.34

上武和臣

- ・事業報告書 アイヌ民謡集についての調査研究

小樽商科大学言語センター

- ・言語センター広報 Language Studies 第16号

帯広市教育委員会

- ・帯広叢書 第60巻 吉田巖資料集26

学習院大学史料館

- ・ミュージアム・レター No.9

神奈川大学日本常民文化研究所

- ・民具マンスリー 第41巻 第4号～第10号

元興寺文化財研究所

- ・近世律師の肖像：その姿とこころ
- ・古きをのこし・つたえる新しき技：記録保存からデジタルアーカイブへ

九州歴史資料館

- ・九歴だより No.27、No.28
- ・九州歴史資料館年報 平成19年度

釧路市立博物館

- ・釧路市立博物館紀要 第32輯
- ・釧路市立博物館々報 No.398、399

航空科学振興財団歴史伝承委員会

- ・歴史伝承委員会だより 第11号、第12号

高知県牧野記念財団

- ・高知県立牧野植物園だより No.34～36
- ・高知県立牧野植物園年報 第7号(2007)
- ・まきの手帖 No.3

弘南堂書店

- ・北方関係を主にした弘南堂古書目録 第49号

神戸市立博物館

- ・神戸市立博物館年報 No.23 平成18年度
- ・神戸市立博物館だより No.94

高龍寺

- ・高龍寺ゆかりの書とデジタル撮影された 蠣崎波響筆涅槃図

コープさっぽろ

- ・ぴあっと Vol.117

国立公文書館

- ・アーカイブズ 第34号

国立民族学博物館

- ・月刊みんぱく 第32巻第9号～第12号、第33巻第1号・第2号
- ・民博通信 No.122、No.123
- ・国立民族学博物館研究報告 第33巻第1号
- ・研究年報 2007

財界さっぽろ

- ・ぶらら Vol.55

札幌市文化資料室

- ・文化資料室ニュース 第6号

札幌女性史研究会

- ・女性史研究ほっかいどう 第3号

沙流川歴史館

- ・沙流川歴史館だより No.31、No.32

滋賀大学経済学部附属史料館

- ・平成20年度企画展 地商いから商社へ伊藤長兵衛家・忠兵衛家文書にみる

標茶町教育委員会

- ・北海道川上郡標茶町ウライヤ遺跡越善地点調査報告書

標茶町郷土館

- ・標茶町郷土館報告 第20号

社会福祉研究センター

- ・草の根福祉 第40号

新千歳空港テナント会

- ・フルール・ナビ No.11

スタイルカフェ・ドットネット

- ・旅鶴 秋の号

世界人権宣言大阪連絡会議

- ・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース No.312～318

先住民族の10年市民連絡会

- ・先住民族の10年News 第147号～第151号

チカラニサッタ 我らつくる明日

- ・「チカラニサッタ 我らつくる明日」有識者懇談会への提言

知多市歴史民俗博物館

- ・知多市歴史民俗博物館年報 第9号(平成19年度)

千歳市

- ・『新千歳市史』編さんだより 志古津 8号

津田命子

- ・伝統のアイヌ文様構成法による アイヌ刺しゅう入門 チヂリ編

天理大学附属天理参考館

- ・天理参考館報 第21号

東京外国語大学記述言語学研究室

- ・東京外国語大学記述言語学論集 思言 第4号

東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館

- ・江戸東京博物館NEWS Vol.63・64
- ・東北学院大学東北文化研究所
- ・東北学院大学東北文化研究所紀要 別冊 柳澤文書目録

東北学院大学東北文化研究所紀要 第40号

東北芸術工科大学東北文化研究センター

- ・季刊 東北学 第17号、第18号
- ・東北文化友の会会報 まんだら 第37号・第38号

東北大学東北アジア研究センター

- ・東北大学東北アジア研究センターニューズレター CNEAS 第37号、第38号

東北電力広報・地域交流部

- ・白い国の詩 通巻604号・605号

遠野物語研究所

- ・『遠野物語』ゼミナール講義記録 2007 『遠野物語』の誕生：『遠野物語』の道を歩く

とかちエテケカンパの会

- ・とかちエテケカンパの会だより 第7号(2008年度)

徳島県立文書館

- ・特別企画展 芭蕉をめざした男 酒井弥蔵の旅日記

第36回企画展 近代阿波の養蚕

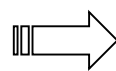
苫小牧駒澤大学

- ・苫小牧駒澤大学紀要 第19号

苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所
 ・環太平洋・アイヌ文化研究 第6号
 ・シンポジウム・レジュメ集 丸木舟が照らすアイヌ文化：厚真町内発見の丸木舟をめぐる
富山県
 ・平成19年度特別企画展 奥山巡見 奥山廻りのダイナミズム
 ・平成19年度特別企画展 実体視「黒部」溪を拓いたもう一つのまなざし 岩永信雄の世界
 ・富山県 [立山博物館] 年報・第17号
 ・富山県 [立山博物館] 研究紀要 第15号
長野県立歴史館
 ・長野県立歴史館だより Vol.56、57
奈良県立民俗博物館
 ・奈良県立民俗博物館研究紀要 第23号
二風谷アイヌ語教室
 ・二風谷アイヌ語教室 広報紙第88号
沼津市明治史料館
 ・沼津市明治史料館通信Vol.24 No.3 通巻第95号・No.4 通巻第96号
ノーザンクロス
 ・カイ Vol.1・Vol.2
早田国光
 ・十勝アイヌ語地名手帖
反差別国際運動日本委員会
 ・IMADR-JC通信 No.155・No.156
日高町教育委員会
 ・チャラセナイ遺跡 日高町埋蔵文化財調査報告書 第1輯
ビッグイシュー
 ・ビッグイシュー 日本版 第101号
平取町
 ・語りつぐ平取
平取町立二風谷アイヌ文化博物館
 ・2006年度 平取町立二風谷アイヌ文化博物館年報
部落解放・人権研究所
 ・研究所通信 No.361～365
文化学園図書館
 ・図書館だより No.147
別海町郷土資料館
 ・別海町郷土資料館だより No.103～112
北海学園
 ・北海学園大学学園論集 第137号、第138号
 ・北海学園大学芸員課程学事報告書 16・17
北海道
 ・アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策 (第2次)
 ・Ainumosir : Ainu Pride [DVD]
北海道ウタリ協会
 ・先駆者の集い 第114号・第115号
北海道ウタリ協会平取支部
 ・平取支部50年の歩み 平取支部設立50周

年記念誌
北海道ウタリ協会穂別支部
 ・社団法人北海道ウタリ協会 穂別支部解散特別記念誌
北海道開拓記念館
 ・北海道開拓記念館だより Vol.38 No.2～4
 ・「古代北方世界に生きた人びと 交流と交易」展示図録
北海道環境財団
 ・北海道環境財団月刊ニュースレター TGAL No.130～135
北海道教育庁学校教育局義務教育課
 ・ピラサ 第8号～第13号
北海道国際航空
 ・ラボラ No.52
北海道社会保険協会
 ・社会保険ほっかいどう No.388
北海道大学アイヌ・先住民研究センター
 ・teetasinrit tekrukoci 先人の手あと 北大所蔵アイヌ資料 受けつぐ技
北海道大学総合博物館
 ・2008年G8洞爺湖サミット関連 北海道大学総合博物館企画展示 洞爺湖・有珠火山地域環境と資源
 ・北海道大学総合博物館 第57回企画展示 ライマンと北海道の地質 北からの日本地質学の夜明け
 ・北海道大学総合博物館研究報告 第4号
 ・北海道大学総合博物館年報 平成18(2006)・19(2007)年度
 ・北海道大学総合博物館企画展示図録 カレル・チャペック その生涯と時代
 ・北海道大学総合博物館ニュース 第18号
北海道大学大学院文学研究科
 ・北海道大学大学院文学研究科公開シンポジウム サハリンの言語世界 予稿集
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園
 ・北大植物園資料目録 第6号 アイヌ民族資料目録
 ・北大植物園研究紀要 第8号
北海道文化財保護協会
 ・文化情報 第309号～第311号
北海道埋蔵文化財センター
 ・下川町 サンル4線遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第258集
 ・白滝遺跡群IX 北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第261集
 ・むかわ町穂別D遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書第259集
 ・幌延町音類竪穴群 重要遺跡確認調査報告書 第6集
 ・北海道立埋蔵文化財センター 年報9 平成19(2007)年度
 ・調査年報 21 平成20年度

北海道立地質研究所
 ・北海道立地質研究所年報 平成18年度、平成19年度
北海道立北方民族博物館
 ・第23回特別展 環北太平洋の文化Ⅲ トーテムの物語 北西海岸インディアンのからしと美
 ・平成19年度 年報
 ・北方民族博物館だより No.70、71
北海道立文書館(編)
 ・赤れんが 北海道立文書館報 No.44
北方ジャーナル
 ・北方ジャーナル第37巻第10号、第38巻第1号
本田優子
 ・シンポジウム&公開講座 アイヌ文化研究の今 4 アイヌの交易世界
丸山隆
 ・「鯨利目」注釈のポスト植民地主義〔抜刷〕
盛岡市先人記念館
 ・盛岡市先人記念館だより No.41
ヤイユカラの森
 ・Yay Yukar Park 61
藪中剛司
 ・クマの描かれたトゥキ(杯) アイヌ民具資料の漆器から
留萌市海のふるさと館
 ・留萌市海のふるさと館紀要 第19号

 センターのホームページでは、3か月ごとに、寄贈を受けた資料のほか、購入した資料などについてもお知らせしています。

行事など

● 平成20年度企画展が終了しました ●

10月～11月に市立函館博物館と函館市中央図書館において開催しました企画展「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー2008・渡島/檜山/津軽海峡」が、無事終了いたしました。関係者の皆様、ご来場いただいた皆様に、厚くお礼申し上げます。

会期中は、市立函館博物館には約1500名ものご来場をいただきました。関連事業として開催した3回の講座・講演会も、合わせて249名のご参加がありました。また、会期中に実施したアンケートにも、たくさんの方にご協力をいただきました。



10月11日の講演会会場のようす



市立函館博物館展示会場のようす

山田秀三氏のアイヌ語地名研究に関する企画展は、平成16年から5年間、道内8か所で行ってきました。これまでの企画展に足をお運びいただいた多くの皆様にも、感謝申し上げます。

● 研究センターが移転しました ●

ホームページなどで既にお知らせしていたとおり、当研究センターは、3月19日から下記の住所に移転しました。

〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目
緑苑ビル1F

(電話番号、FAX番号、電子メールアドレスは、これまでと変わりありません)



移転に伴い、3月2日から3月31日まで休館し、4月1日から通常どおり開館いたします。なお、4月13日までは一部の資料の利用等を制限させていただくことがあります。ご不便をおかけしますが、どうぞご理解願います。

移転を機に、資料閲覧コーナーは少し広くなり、利用できる資料も少しずつ増やしています。今後も、研究センターの設置目的である、調査研究事業、情報収集・提供事業の充実に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

センターの刊行物

平成20年9月から平成21年3月までに、この『センターだより』30号のほか、次の刊行物を発行しました。

・『鶴川地方のアイヌの音楽についての調査研究 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査報告書 5』

・『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』15号

(以下は表題と執筆者名です)

[論文] アイヌ語虻田方言の英雄叙事詩 (yukar) テキストとその言語的特徴 佐藤知己

[論文] アイヌ口承文芸にみられる「史実」と交易 本田優子

[資料紹介] 長万部町教育委員会所蔵のアイヌ民族資料

古原敏弘・小川正人

[資料紹介] アイヌ文献目録 2007 アイヌ文献目録編集会

- ・『調査研究報告書』及び『研究紀要』は、北海道行政情報センター(道庁別館3F/011-231-4111内線22-389、または011-241-7979)で有償頒布しています。
- ・『センターだより』は当センターのホームページでもご覧いただけます。

平成20年度後半の動き

■ 行事など

企画展「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー2008・渡島/檜山/津軽海峡」(函館市 10～11月)

- ・ 講座「アットウシの歴史を追う」(講師:本田優子氏)
- ・ 講演会「山田秀三氏の道南・青森での地名調査」(講師:佐々木利和氏)
- ・ 講座「山田秀三文庫の渡島・檜山地方に関する地名調査資料について」(講師:研究センター職員)
- ・ 講座「渡島・檜山地方のアイヌ民族資料について」(講師:谷本晃久氏、研究センター職員)
- ・ 講演会「山田秀三文庫と渡島地方の古地図」(講師:高木崇世氏)

国立公文書館実務担当者研究会議(東京都/参加:小川、1月)

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

2009年3月25日

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 緑苑ビル1F

電話 011-272-8801(代) FAX 011-272-8850

月～金/9:00～17:00(土・日・祝日/休)

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/abc>

Email hacrc.1@pref.hokkaido.lg.jp

この広報紙は、環境に配慮した用紙を使用しています(古紙配合率100%、白色度70%)。